
平成22年度事業報告 及び歳入歳出決算の概要

医療施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



1. 赤十字病院の概要

■ 赤十字病院分布図(平成23年2月末現在)

| | |
|-------|----|
| ・ 病院 | 92 |
| ・ 診療所 | 6 |



日本の総病院数: 8,655

| | |
|-----------------|-----------|
| ・ 国(独法含む) | 274 |
| ・ 地方自治体 | 989 |
| ・ 日本赤十字社 | 92 |
| ・ 私立学校法人 | 108 |
| ・ 医療法人 | 5,718 |
| ・ その他 | 1,474 |

2. 赤十字病院の公的特色

| | | |
|-------------------|------------|--------|
| ■救命救急センター | 34施設[内高度3] | (234) |
| ■ドクターヘリ | 2施設 | (23) |
| ■災害拠点病院 | 60施設 | (592) |
| ■総合/地域周産期母子医療センター | 32施設 | (420) |
| ■へき地医療拠点病院 | 14施設 | (206) |
| ■地域がん診療拠点病院 | 37施設 | (377) |
| ■地域医療支援病院 | 35施設 | (267) |
| ■臨床研修病院（基幹型） | 63施設 | (1059) |
| ■DPC対象病院 | 66施設 | (1391) |

日赤の施設数のみH23.1現在

()は全国の施設数(H22.4現在)

3. 赤十字病院の特色発揮と機能強化

■ 地域における赤十字病院の役割

- ・医療機能の分担・集約、地域連携の促進
- ・救命救急医療、災害時医療、小児医療、周産期医療、へき地医療 等

■ 救援・救護活動等への取り組み

- ・国際医療救援活動の実施

平成22年1月 ハイチ大地震災害

平成22年2月 チリ大地震災害

- ・海外保健医療支援事業の実施：インドネシア、フィリピン、モンゴル、ケニア
- ・災害復興支援事業の実施：バングラデシュ、パキスタン、インドネシア、ミャンマー、中国
- ・東日本大震災における支援要員の派遣：医師、薬剤師、臨床工学技士、放射線技師、看護師、事務



救命救急医療

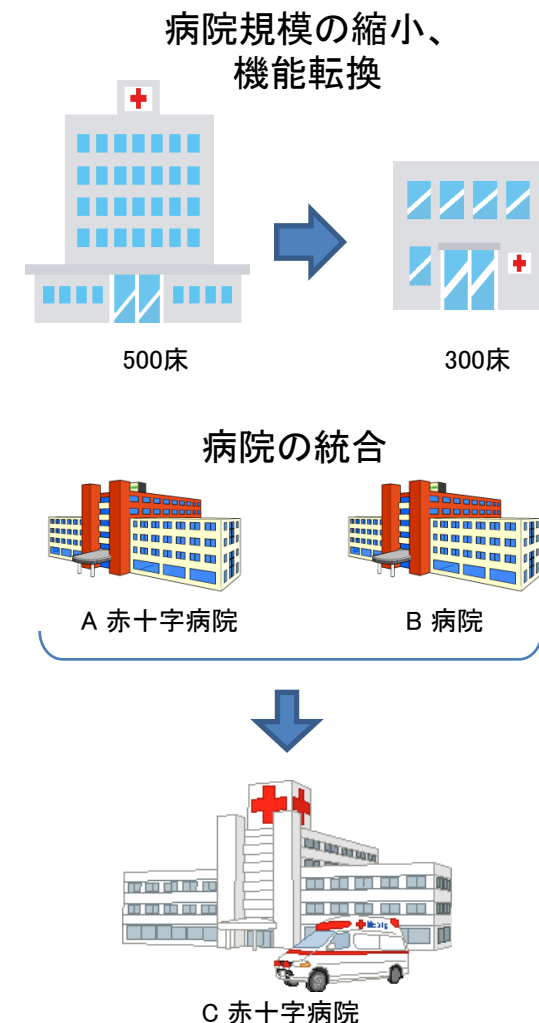
4. 赤十字病院の今後の在り方について

■ 病院経営管理委員会における審議内容等

- ・閉鎖等を検討する病院の具体的基準に基づき、
管理病院の選定(4病院)
- ・管理病院における規模縮小、機能転換、統合、
移管、閉鎖等の具体的対応方針及び運営形態
見直し計画の策定
- ・本社医療事業部に「病院経営管理室」を設置

■ 今後の方針

- ・管理病院の運営形態見直し及び進捗管理
- ・閉鎖等を検討する管理病院の新規選定
- ・管理病院の統合、移管、閉鎖等



5. 看護師の養成と確保

■ 看護教育の充実

赤十字の特色発揮

支部・赤十字病院との連携強化

- ◆ 学生確保対策
- ◆ 災害看護教育の充実
- ◆ 臨地実習体制の充実

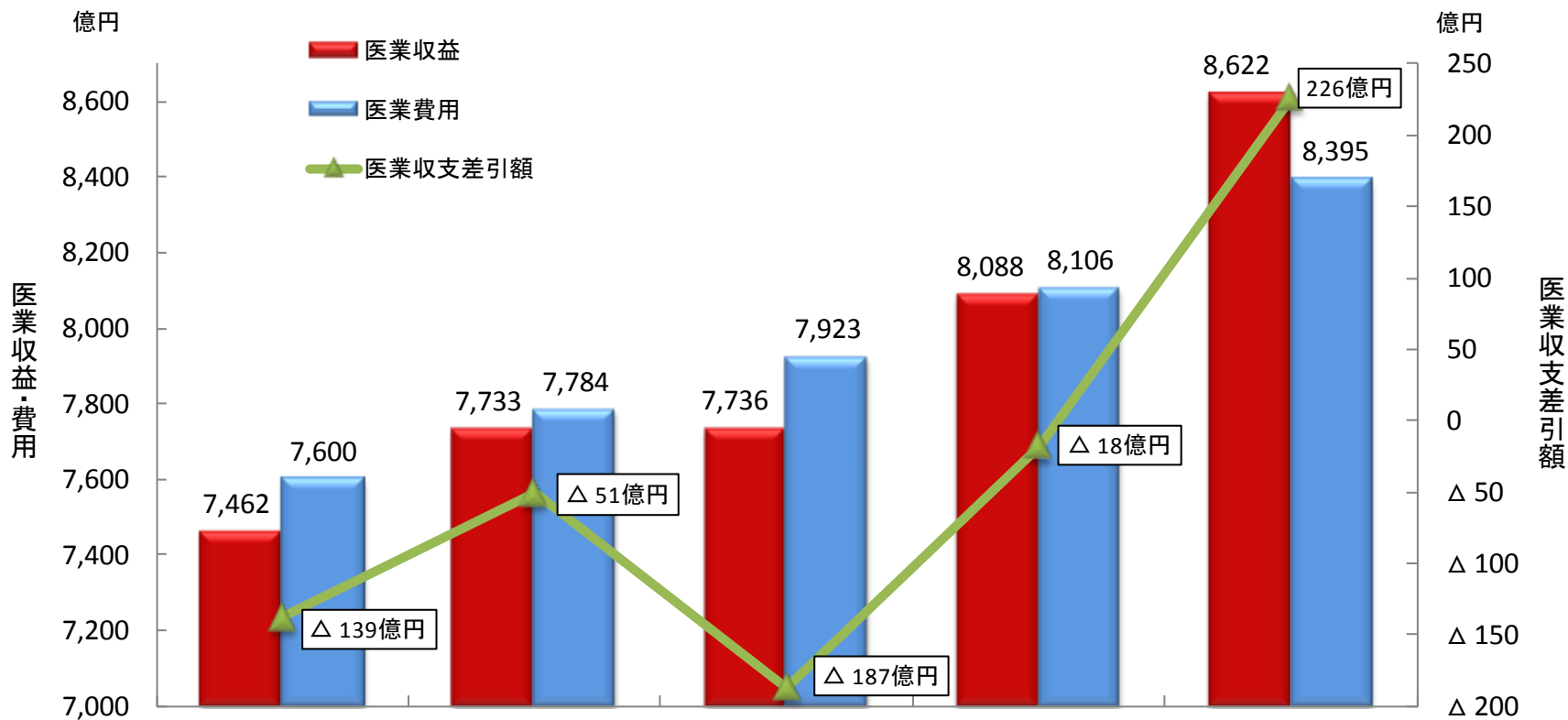
＜平成23年度 看護師等養成数＞

| 職種 | 学年定員 | 内訳 | (人) |
|-----|-------|-------------|-----|
| 看護師 | 1,345 | 専門学校 17校 | 680 |
| | | 大学 6校 | 665 |
| 助産師 | 70 | 助産師学校 1校 | 40 |
| | | 看護学部4年次編入1校 | 5 |
| | | 大学院修士課程2校 | 25 |
| 保健師 | 700 | 大学 6校 | 700 |



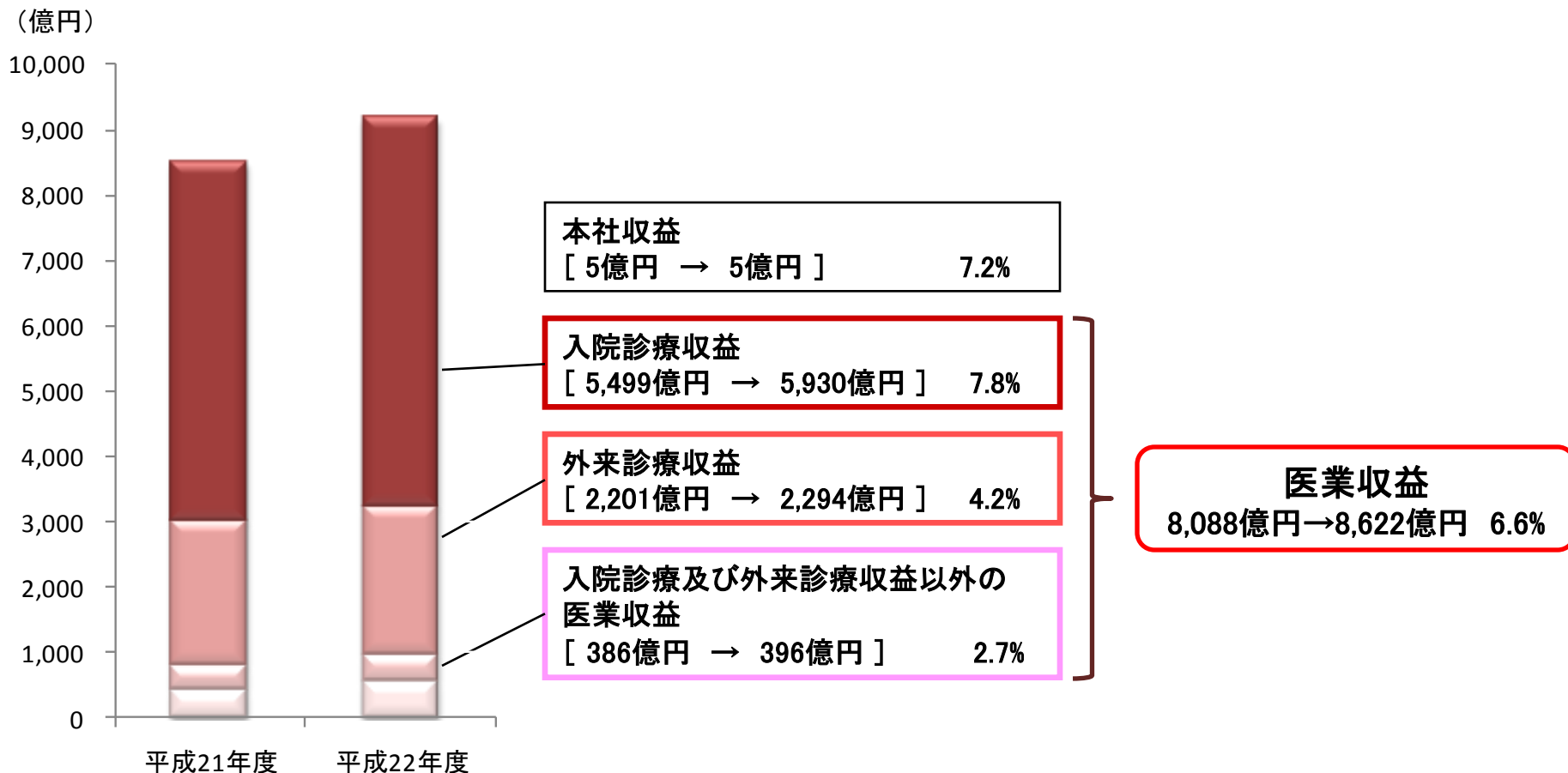
6. 赤十字病院の経営状況

■ 経営状況の推移(施設勘定・医業収支)



| | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 収支の背景 | 診療報酬改定 | | 診療報酬改定 | | 診療報酬改定 | |
| | | Δ3.16% | | Δ0.82% | | +0.19% |
| | 診療報酬 | Δ1.36% | 診療報酬 | Δ0.38% | 診療報酬 | Δ1.55% |
| | 薬事等 | Δ1.80% | 薬事等 | Δ1.20% | 薬事等 | Δ1.36% |

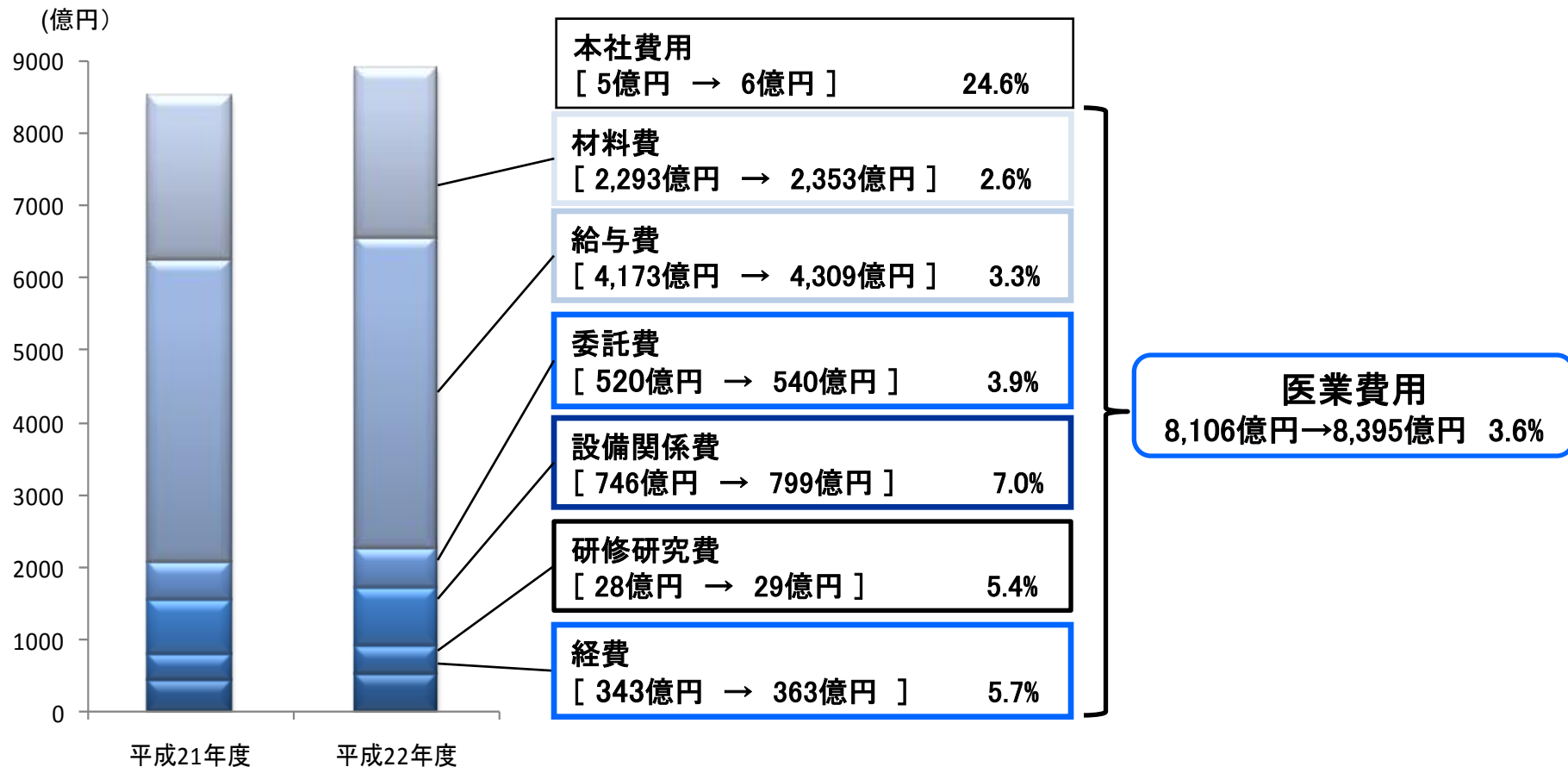
7. 医療施設特別会計 収益的収入のあらまし



| | 平成21年度決算 | 平成22年度決算 | 増減率 |
|---------|----------|----------|------|
| 収益的収入合計 | 8,518億円 | 9,178億円 | 7.7% |

※本社、施設間の内部取引分は相殺して計上していること。

8. 医療施設特別会計 収益的支出のあらまし



| | 平成21年度決算 | | 平成22年度決算 | 増減率 |
|---------|-------------|---|------------|------|
| 収益的支出合計 | 8,530億円 | → | 8,915億円 | 4.5% |
| 収支差引額 | △12億円 | → | 263億円 | |
| 黒字施設 | 40施設 127億円 | → | 61施設 347億円 | |
| 赤字施設 | 50施設 △139億円 | → | 29施設 △83億円 | |

※本社、施設間の内部取引分は相殺して計上していること。

9. 医療施設特別会計 資本的収支のあらまし

| | |
|-------|---------|
| 資本的収入 | 1,132億円 |
| 資本的支出 | 1,132億円 |

■平成22年度竣工の主な施設整備事業(総額)

- ・安曇野赤十字病院全面改築工事 83億6千万円
- ・古河赤十字病院新築移転工事 61億3千万円 他

■資本的収支とは・・・
 病院建設や医療機器等の
 整備 にあたっての収入・
 支出の状況 を表したもの
 です。



(左) 安曇野赤十字病院新築移転工事(平成23年3月竣工)

(右) 古河赤十字病院新築移転工事(平成22年5月竣工)